

知っていますか？『潤いの時間』(1)

さいたま市教組情宣

さいたま市
教職員組合
(埼教組)

TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail
saitama@kyouji
ku-net.org

2005. 2. 28
(月)
No. 82

一月十八日、さいたま市教育委員会は、『さいたま市小・中一貫「潤いの時間」教育特区』を、構造改革特別区域計画として申請しました。

すでに、管理職から、口頭もしくは、簡単なプリントによる説明はあったものの、詳しい内容は知らされていません。そこで、「潤いの時間」とは、「どんな内容を、どんな方法で」やろうとするものなのか、市教委の資料をもとにみなさんに知らせ、一緒に考えたいと思います。(以下、特に断らない限りは、市教委の資料からの引用です。)

○「潤いの時間」の内容
「『人間関係プログラム』と『英会話』の2つの学習内容で構成」

○「潤いの時間」の教材と評価
「さいたま市独自の教材を開発し、使用していく」「『潤いの時間』の目標を踏まえ評価を実施する。内容等については、検討委員会ですべて具体的なものとしていく」

十七年度から、全小中学校で実施するとしている「人間関係プログラム」を見てみましょう。

◇目標
「児童生徒に、対人関係を円滑にするための具体的な技術(スキル)を身につけさせる」

◇内容
「(ア) 学級にあたたかな人間関係を育むエクササイズ」

(イ) 会話において必要となる基本的な技術を習得するエクササイズ
(ウ) 相手とトラブルなく円滑に自分の意志を伝える技術を習得するエクササイズ

◇実施学年と時期
「小学校第3学年から中学校第1学年の全児童生徒」に、「年3回、各学期のはじめ」、「学級担任が実施する」

なお、下記に、小学校三・四年生の詳しい内容をのせておきました。

寄せられた意見から

- スキルさえやれば不登校は減るのだろうか。(見沼区の方から)
- 総合を必ずしも良しとはしないけど、理由もなくやめるのはどうしてなのか、説明がほしい。(北区の方から)

○人間関係プログラムの内容は、毎日の授業で一生涯懸命やっていること。スキルとして別にやるようなことなのだろうか。(中央区の方から)

○子どもの学力が低下していると文科省は言っている。今必要なのは、国語や算数に力を入れるべきなのではないか。(西区の方から)

【小学校第3・4学年】

単元	時間	目標	児童生徒の目指す成果・スキル
単元1	第1時	○学級にあたたかな人間関係を育む	・自己主張、自己開示、自己表現でできる雰囲気づくり
	第2時		
単元2	第3時	○会話において必要となる基本的な技術の習得	・「話をする人に体を向ける」 ・「話をしている人を見る」 ・「あいづちをうつ」 の3つのスキルの習得
	第4時		
単元3	第5時	○友だちを仲間に誘う技術の習得	・「相手に近づく」 ・「相手を見る」 ・「相手に聞こえる声で誘う」 ・「笑顔で言う」 ・「誰でも分け隔てなく誘う」 の5つのスキルの習得
	第6時	○遊びの仲間に入れてもらう技術の習得	・「相手に近づく」 ・「相手を見る」 ・「相手に聞こえる声で誘う」 ・「笑顔で言う」 ・「『仲間に入れて』と声をかける」 の5つのスキルの習得

○相手とトラブルなく円滑に自分の意志を伝える技術の習得